



■ 代表的な認知症(3)

前回に引き続き、代表的な認知症をご紹介します。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などによって発症する認知症です。脳の場所や障害の程度などによって、症状が異なります。そのため、できることできないことが比較的是っきり分かれていることが多いです。手足のマヒなどの神経症状が起きることもあります。

【原因】

脳の血管が詰まる「脳梗塞」や血管が破れる「脳出血」など脳血管に障害が起きると、その周りの神経細胞がダメージを受けます。脳の画像を見ると、障害の跡がわかります。

【主な症状】

- ・ 認知機能の症状として障害される能力と残っている能力があります（まだら認知症）。判断力や記憶は比較的保たれています。「せん妄」が起きて突然認知機能が悪化することがあります。
- ・ 行動・心理面の症状として、意欲や自発性がなくなったり落ち込んだりすることが増えます。感情の起伏が激しくなり、些細なきっかけで泣いたり興奮することがあります。
- ・ 身体面の症状として、脳血管障害による手足のマヒや感覚障害などの神経症状が現れることがあります。また、ダメージを受けた場所によっては言語障害などが出る場合もあります。

対応のポイント

◎規則正しい生活習慣を。

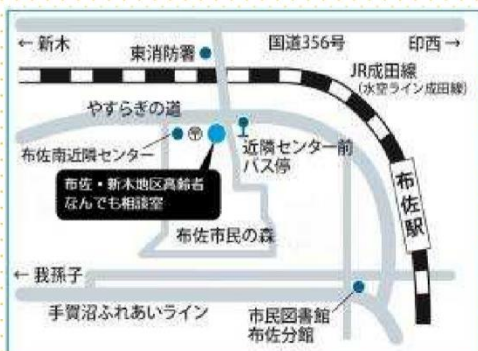
意欲がなくなって、日中の活動が少なくなると、不眠や昼夜逆転の原因になります。今までの規則正しい生活習慣を出来るだけ崩さないように、日課表などを作って、無理のないものから徐々に活動を増やしていきましょう。

- 本人が無理しなくても楽しめることから始める。
- いろいろな誘い方をしたり、誘う人を替えてみる。
- 介護保険のデイケアサービスなどを利用する。
- リハビリテーションが大切。

前々回ご紹介したアルツハイマー型認知症、前回ご紹介したレビー小体型認知症、今回ご紹介の脳血管性認知症の3つで、認知症の全体の85%を占めています。残りの15%の中には前頭側頭型認知症（ピック病）や、治るかもしれない認知症と言われている正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などがあります。次回、その他の認知症をご紹介します！



布佐・新木地区高齢者なんでも相談室



住所：我孫子市布佐平和台4丁目1番1号

電話：04-7189-0294

FAX：04-7189-0290

利用できる日：毎週月曜日から土曜日まで及び第4日曜日

担当地区

新木、新木野、南新木、布佐西町、布佐、布佐平和台、江蔵地、都、新々田、三河屋新田、相島新田、大作新田、布佐下新田、浅間前新田